

あいち農産物生産流通レポート

平成22年7月号

情報サロン		
・ ドアラを食育推進大使に任命し、「あいち食育いきいき キャンペーン」を実施しました	(食育推進課).....	1
地域トピックス		
・ 「奥三河食彩フェスタしたら2010」が開催されます	(新城設楽農林水産事務所).....	2
東日本情報		
・ 第13回「旬の食材提案会」が開催されました	(東京事務所).....	3
西日本情報		
・ 麦現地説明会が開催されました	(園芸農産課).....	5
フラワーページ		
・ 花き市場の動向について	(株式会社 大田花き 萩原正臣).....	6
青 果		
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	8
・ 名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し	9
花 き		
・ 切花・鉢花の7月の見通し(県内市場)	2 1
輸出入		
・ 主要農産物の輸出入実績(2010年4月)	2 5
関連指数	2 6

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

ドアラを食育推進大使に任命し、 「あいち食育いきいきキャンペーン」を実施しました

「食育月間」である6月の13日に、栄養バランスのとれた食事や、食卓でのコミュニケーションなど、食育の実践を県民の皆さんに呼びかけるため、大人気の中日ドラゴンズ・マスコットキャラクター「ドアラ」を「食育推進大使」に任命し、「あいち食育いきいきキャンペーン」を開催しました。

ドアラ「食育推進大使」任命式(アビタ長久手店)

知事からのあいさつでは、「食育は難しいことではなく、家族と一緒に食卓を囲むこと、『いただきます』と感謝の気持ちを表すこと、といった身近な取組が大事である」と食育の実践を呼びかけました。

知事からの任命状を受け取ったドアラは、「あいち食育いきいきプラン」における3つの方向性「体・心・環境」と絡めて、「めざせ食育三冠王」と決意表明しました。



アビタ長久手店での食育ステージイベント

任命式に先立ち、愛知県食育推進ボランティアの「とにとクラブ」による「Let's みんなで食育クイズ」が催され、食べ物に関する知識や栄養バランスのとり方を、クイズで楽しく学びました。

また、愛知県発祥の食品関連企業10社で組織する「あいち食育サポート企業団」のイベントも同時開催し、ドアラのパンケーキを作るクッキング教室などを実施しました。



リニモ車内や金山駅で食育を呼びかけ

ドアラと職員一行はリニモに乗り込み、乗客の皆さんに、限定グッズ「ドアラの『おうちでごはんの日』マグネット」や食育パンフレットを配付しました。突然現われたドアラに、乗客の皆さんはびっくり。

その後場所を変え、金山駅でもグッズやパンフレットを配布しました。身動きができないほどの人だかりにドアラの人気の高さを改めて感じました。

なお、このキャンペーンの様子は、後日、愛知県のインターネット広報番組「あいちインターネット情報局」にて動画配信されます。

【URL】<http://www.doga.pref.aichi.jp/>



「奥三河食彩フェスタしたら2010」が開催されます

「食」をテーマに、奥三河の魅力を発信するイベント「奥三河食彩フェスタ2010」が開催され、第7回となる今回は、平成22年7月31日（土）から8月1日（日）の2日間、設楽町名倉スポーツ広場（旧名倉中学校）で様々な催しを行います。

新鮮な高原野菜の直売はもちろんのこと、地元特産の五平餅や奥三河の清流に住む川魚の塩焼きなどをご賞味ください。

また、木材の生産が盛んなこの地域ならではのイベントとして、丸太からチェーンソーでダイナミックに作品を削り出す「チェーンソーアート」や、木工体験や丸太登りに挑戦することができます。

奥三河高原で過ごす夏の思い出づくりとして、ぜひご家族等で食べ・遊び・体験しに来てください。

なお、各イベントの日時や詳細は変更もあり得ますので、必ず事前に下記のURLや問い合わせ先などをご確認くださいようお願いいたします。

日時

平成22年7月31日（土） 午前10時から午後4時まで
8月 1日（日） 午前10時から午後3時まで

場所

設楽町名倉スポーツ広場（旧名倉中学校）
愛知県北設楽郡設楽町東納庫字ヲトシ山3番地2
（国道257号沿い、交差点「名倉小学校」西）

主な行事

- ・農産物及び加工品販売（トマト、とうもろこし、エゴマ加工品、五平餅など）
 - ・畜産品販売（牛肉、乳製品など）
 - ・特産こんにやくを使った「こんにやくソーメン流し」
 - ・ニジマスつかみ取り（バーベキュー可）
 - ・草木染め体験
 - ・チェーンソーアート作品販売
...など盛りだくさん
- （予告無く変更、中止になる場合があります。）

主催

奥三河食彩フェスタしたら実行委員会

URL

PC用：<http://tabemai.com/> 携帯用：<http://tabemai.com/mobile/>

お問い合わせ先

実行委員会事務局（電話 0536-63-2006）

設楽町役場産業課（電話 0536-62-0511）

奥三河食彩フェスタしたら



会場の様子(昨年度)

第13回「旬の食材提案会」が開催されました

6月8日（火）、大田市場において旬の食材提案会（主催：東京青果）が開催されました。量販店バイヤー、仲卸業者、加工業者等に食材の良さを知ってもらうために毎年2回おこなわれる催しです。

今回は「サラダフェスティバル」と銘打ち、これから消費が増える「サラダ用食材」をテーマとして開催されました。

展示された94品目の野菜類及び果実類は、「鮮」（生野菜として利用）、「温」（加熱して利用）、「彩」（カラフルに美しくトッピング）の3つのカテゴリーに分けて展示されていました。

来場者は各展示品毎に用意された試食品の食味を確かめながら、担当職員に質問をする光景がみられました。また、各種ドレッシングも用意され、野菜との相性を確かめながら食べる来場者も多くみられました。

これら展示の中で気になった食材について簡単に紹介します。

1 「鮮」（せん）

レタス類、トマト類、キャベツ、キュウリ、白菜、大根、ニンジン、セルリー等23品目の展示があり、本県からはミニトマト（JA豊橋産）の展示がありました。

この中で個性的なものとして奈良県の伝統野菜（通称、大和野菜）である「半白きゅうり」がありました。丸みを帯びた形で、果実の半分が白色をしているのが特徴で、歯切れが良く、やや苦みのある食感はきゅうり本来の味がする一品でした。



半白きゅうり

2 「温」（おん）

ブロッコリー、カリフラワー、アスパラガス、なす、レンコン、ごぼう、枝豆、きのこ類等32品目で、本県からは「冬瓜」（JA豊橋産）の展示がありました。

この中でサツマイモの「紅はるか」（千葉県・大分県）は昨年収穫した貯蔵物ではありますが、ねっとりとした食感と抜群の甘みがあり、スイーツ感覚で食べられる新しい品種です。（平成22年3月品種登録）

長なすの「ヒゴムラサキ」（熊本県産）は、ボリューム感があり肉質が柔らかく、生で食べられるほどアクが少ない特徴があります。食べてみるとクセがなく、ほのかな甘みを感じました。



紅はるか



会場の様子

「姫チンゲン」(静岡県産)は、ミニ青梗菜である「ラーメンチンゲン」をさらに小さくした長さ10cmの超ミニ青梗菜です。アクが少なく、丸ごと使え、包丁いらずで調理も簡単です。生で試食しましたが確かにクセのない味でした。



ヒゴムラサキ



姫チンゲン

3「彩」(いろいろ)

リンゴ、ぶどう、イチゴ、サクランボ、スイカ、ピワ、国産パイン、デコポン等の果実類とパプリカ、エディブルフラワー、香菜、ねぎ類等の39品目の展示で、本県からは「ハウスいちじく」(JA西三河産、JA知多産)、「ベルローズ」(豊橋温室園芸農協産)、「トレニア」(豊橋温室園芸農協産)の展示がありました。

この中でイチゴ品種「サマールビー」(北海道産、青森県産)は長円錐形で大きく、



アセロラ

果実は柔らかく香りのある夏秋イチゴです。食べてみると確かに果肉は柔らかく食べやすいのですが、甘みが少なく業務用のものです。



サマールビー

「アセロラ」(宮城県産)はビタミンCを多く含む果実として有名です。種子が大きく、収穫後の日持ち性が悪いため、希少価値のある果実です。

「ハート型・星型胡瓜」(千葉県産)は、断面をカットするとハート型、星形になるキュウリで、料理を楽しむためのアイテムとして面白いものです。

この他、実際にレストラン、果専門店等で利用されるサラダ食材を展示したコーナーや、希望者15名がプラスチック製カップにサラダを盛り合わせて競うサラダコンテストもおこなわれました。

今回の提案会には、「こだわり」のある商材が多く出品されていました。アイデアあふれる魅力ある産地限定の商材として、大田市場で今後、どのように開花していくのか、将来が楽しみです。



手前：サラダ食材
奥：コンテスト風景

麦現地説明会が開催されました

愛知県は、小麦の都道府県別収穫量が第7位（平成21年産）の産地で、県内では、安城市、西尾市、豊田市、岡崎市など西三河地域を中心に生産されています。作付品種は「農林61号」と「イワイノダイチ」で、ほとんどが県内の製粉会社各社に供給され、その小麦粉は主に日本めん（うどんなど）に使われま

す。

麦現地説明会の開催

去る5月19日、JAあいち経済連は「平成22年産麦現地説明会」を開催しました。この説明会は、実需者である製粉会社等に対し、生産者である産地農協等が生育状況を説明し、当年産小麦の生産、販売見込みや実需者の要望等について意見交換するもので、収穫前のこの時期に毎年開催しています。

1 平成22年産小麦の生育概況

平成22年産小麦は、播種作業が降雨の影響で適期（11月中下旬）から大幅に遅れたことや2、3月の降雨により湿害を受けたことなどから、平年に比べ収穫量は少ない見込みです。

2 小麦新品種「東海103号」について

説明会当日、西尾市と刈谷市の「東海103号」現地栽培試験ほ場を視察しました。東海103号は愛知県農業総合試験場が育成した小麦の新しい品種で、収量が多く製めん適性が高いなどの特徴があります。

ほ場視察後の検討会では実需者から、めんの食味官能評価が高かったとの意見や導入にあたって提案など東海103号への期待の声も聞かれました。



写真：東海103号の現地試験ほ場（西尾市）

なお、東海103号については24年産から一般栽培を開始し、その後順次実需者の評価を得ながらイワイノダイチと農林61号の一部を置き換えていく予定です。

花き市場の動向について

近年、地球規模での気象変動が激しくなっています。温暖化の進行で極端な高温や熱波、大雨の頻度は今後も高まることが、IPCC第4次評価報告書に記されています。

渥美半島台風上陸も記憶に新しい昨今、花き業界についても、青果の高騰に見られるような生販の歪（ゆがみ）が各県・各品目で散見しています。

『作るに天候・売るに天候』の花き流通に対して、昨年暮れから続く長雨・低日照の影響を受けて、初期生育の不良や開花遅延が各地で見受けられました。

1 市況の動向

市況で特筆すべきなのは、3月以降、5月の母の日までの需要期において、国産品薄傾向に拍車が掛かり、良質な商品を求める地域一番店や量販店・業務店等、幅広いカテゴリーの顧客が品薄単価高での取引になったことに、花き業界は心配や落胆・疲弊を余儀なくされたことです。

彼岸のマーケットサイズを考慮し、安価な商材の要求を見越して輸入品を荷揃えする動きが、実需者の利益確保と国産の適正価格を考慮しながらも、弊社を含め各社で見受けられました。

彼岸の適正相場で利益確保が進んだ結果、彼岸明けの年度末需要は、品薄への不満が洋花中心に色濃く、高騰市況となって表れました。

花きの生産地は国内に留まらず、アジアや地球規模で広がりを見せており、グローバルな対応が販売店からは求められています。今後は「差別化」が国産・海外産を両立するキーワードであると再認識させられました。

2 需要の動向

景気について言えば、官公庁始め、企業内人事異動・卒業式需要等に利用される花束が、過去2～3年の推移とは桁違いに増加し、大手企業から町の小売店に至るまで、口を揃えて需要が拡大したとの報告があります。

この事象のみを取って景気回復とは言えませんが、徐々に景気回復が花き業界にまで届きつつあると感じるとともに、花が必需品として位置付けられてきていることを確認できました。

3 生産者に求められること

生産に関して言えば、農林水産省統計情報では、5年前に比べると生産面積の10%が日本国内から消失していると報告されています。

降雪・遅霜の影響や、前述の天候予見含め出回り量が不足している現状も見受けられますが、繁盛店からは商材確保に向けた予約相対取引の拡大を求める傾向が強まっており、計画出荷を推進できる産地とのタイアップが求められています。これからの農家には、企業家への成長が要求されるでしょう。

また、いわゆる「勝ち組」顧客は、複数の仕入チャネルから安値を追求する仕入から脱却し、販売力向上に向けた企画立案等に時間を割く傾向にあります。

これに併せて、野菜のようにトレーサビリティを導入し、安心・安全な花を生活者へ提案する企業も増加しています。MPSや採花日表示を行う産地とのタイアップへの要望も拡大しています。

消費者にとって「良い物を安く」は当たり前のことになっています。再生産コストを含め話し合えるパートナーとのタイアップを求める声は、日増しに拡大しています。

4 市場の役割

市場は決済機能・相場形成機能・集散機能等を併せ持ちますが、中間流通として川上・川下とのマッチングビジネスを成立させる「企画力」が、今後ますます要求されていきます。

需要期に増産し、閑散期には品を薄くすること、供給サイドから考えれば需要期を目指して生産し、閑散期の物量をいかにして売り捌くかが求められています。作型を把握し、需給バランスを意識した販売戦略の構築が必要となってきます。

これに併せて、消費の側面から必要なスペックでの供給体制を検討し、流通コスト等のコスト面まで意見交換を行い、販売単価よりも利益率確保に傾注する事が肝要になると考えます。

5 まとめ

以上の点から、常に成長が求められるマーケットで農産物流通に携わる者として、生販と流通の間である市場と共に新境地を切り開き、薄利でも明日への投資が計れる仕事を目指したいと思います。

また、事業を通して消費者の暮らしに潤いを提供し、豊かな社会文化を創造していきたいと考えます。読者の皆様のお力をお貸しください。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：アールスメロン）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	306	138 (45%)	553	440	静岡 (38%) 高知 (15%)
22年見通し	300	-	550	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>地元愛知、静岡、高知等から入荷する。 4月の天候不良により、生育は1週間程度遅れているが、その後の好天で玉伸びは良く生育は順調で、大玉傾向。 作付面積は各産地とも前年比90%台と前年を下回っている。 入荷量、価格ともに、前年並となる見込み。</p>			<p>贈答用の高級食材というイメージが強く、中元・旧盆需要の割合が高い。 景気が回復しても消費者の低価格志向が変わらないことから、販売環境は厳しい。 静岡産と卸売価格で300円近くの差があることからブランドイメージの向上が必要 気温上昇に伴い傷みやすくなるので、出荷の際は病気がないものを選んでほしい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：とうがん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	767	254 (33%)	86	107	神奈川 (30%) 静岡 (18%) 岡山 (8%)
22年見通し	800	-	85	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>沖縄産が6月中旬でほぼ終了し、愛知、神奈川、静岡などが出荷の中心となる。 本県産の出荷開始は6月上旬で、本格的な出荷は6月中旬から、出荷ピークは7月中下旬の見込み。各産地ともに生育は概ね順調であるが6月中旬以降の天候により果実肥大への影響が懸念される。 全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>			<p>業務用途が高い野菜である。今後の需要増加のためには、料理方法の提案などにより一般家庭での消費拡大が必要である。 出荷量が日により大きく増減することのないように安定的な出荷をお願いしたい。 出荷時における若採りと表皮の粗毛除去を励行し、形や色を揃えるなど高品質の保持に努めて欲しい。特に県内一部産地で玉回しが不十分なため果皮が濃緑色に揃わないものがあるので、適切な栽培管理に努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し

名古屋市中央卸売市場

6月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	17年	33,119	193	178	213	188	長野 24%
	18年	33,256	208	200	195	227	北海道 12%
	19年	32,946	208	191	210	220	愛知 12%
	20年	34,757	184	203	193	159	兵庫 9%
	21年	30,896	201	194	211	199	
	5カ年平均	32,995	199	-	-	-	
	22年見通し	31,000	204	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
葉ものを中心に長野等の高原もの、東北・北海道に産地が移行する。春の天候不順から生育は遅れ気味で、産地の切り替わりも遅れているが、下旬には各産地とも気温の上昇とともに、入荷も安定する。入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。							
だい	17年	2,259	77	64	104	69	青森 45%
	18年	2,008	104	85	106	122	北海道 30%
	19年	2,208	78	64	87	82	岐阜 15%
	20年	2,139	64	70	62	59	群馬 7%
	21年	1,982	83	86	83	81	
	5カ年平均	2,119	81	73	88	82	
	22年見通し	2,000	90	90	90	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森、北海道に移行。各地とも春先の天候不順から生育は遅れているが、徐々に回復する。回復時期は今後の天候次第だが、入荷のピークは中下旬となる見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。							
に	17年	1,691	143	113	157	157	青森 59%
	18年	1,991	191	214	195	170	北海道 38%
	19年	1,951	115	120	112	114	千葉 1%
	20年	2,025	113	164	107	74	愛知 1%
	21年	1,721	148	135	149	159	
	5カ年平均	1,876	142	151	143	133	
	22年見通し	1,700	150	150	150	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森、北海道中心。天候不順の影響で生育は遅れており、回復は天候次第。作付面積は前年並みあるため、一時的な品薄状態と予想される。入荷量は、価格ともに前年並みとなる見込み。							

東京都中央卸売市場

6月23日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	17年	125,497	206	194	231	192	群馬 16%
	18年	122,078	231	215	218	260	長野 12%
	19年	123,499	230	206	234	247	茨城 12%
	20年	132,422	202	229	199	180	青森 9%
	21年	126,213	219	216	222	220	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	125,942	218	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		126,000	220	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
群馬、長野の高冷地と東北産地からの入荷が本格化する時期となる。各品目とも生育は概ね順調だが、低温、日照不足など天候不順の影響による遅れや小玉傾向も見られる。 入荷量は前年並みで、価格は前年並み見込み。							
だいこん	17年	9,058	79	73	96	70	青森 47%
	18年	8,500	101	84	101	117	北海道 46%
	19年	9,415	79	67	89	81	岩手 3%
	20年	9,774	65	72	58	65	群馬 2%
	21年	9,226	78	87	74	74	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	9,195	80	76	83	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		9,200	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
青森に加えて、北海道が本格出荷する。北海道は4月・5月の低温や日照不足の影響7日から10日程度の生育遅れがみられる。青森も同様に生育がやや遅れている。出荷ピークは7月後半頃になる見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。							
にんじん	17年	5,964	129	101	139	146	青森 51%
	18年	5,850	193	197	196	185	千葉 23%
	19年	7,300	106	106	101	111	北海道 21%
	20年	7,212	115	149	104	87	中国 2%
	21年	5,909	137	118	140	152	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	6,447	134	133	133	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		6,500	115	110	115	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉に加えて、青森、北海道からの入荷が増える。青森、北海道とも低温、日照不足で生育が7日から10日程度遅れずみ。栽培面積も減少。千葉も生育やや遅れで7月下旬まで出荷見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格はかなり前年を下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	17年	2,337	65	62	68	65	長野 100% 愛知 0% 茨城 0% 岐阜 0%
	18年	2,487	78	72	70	93	
	19年	2,612	73	63	70	85	
	20年	2,234	78	97	69	68	
	21年	1,810	68	59	72	74	
さい	5カ年平均	2,296	73	71	70	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	22年見通し	1,900	70	60	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野中心。作付面積は前年並み。長野の生育は遅れ気味で、回復時期は天候回復時期による。需要は加工向けが中心で、量販店の需要が減少する時期。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					<p>ほうきの数量と単価の推移。数量は8月約2400t、10月約3800t、12月約3800t、1月約3000t、2月約3000t、3月約3800t、4月約4800t、5月約3800t、6月約3800t、7月約3800t。単価は8月約75円/kg、10月約75円/kg、12月約75円/kg、1月約75円/kg、2月約75円/kg、3月約75円/kg、4月約100円/kg、5月約75円/kg、6月約75円/kg、7月約75円/kg。</p>
キャベツ	17年	3,627	65	72	67	56	群馬 43% 長野 36% 茨城 10%
	18年	4,070	71	72	62	80	
	19年	3,894	104	92	112	107	
	20年	3,978	71	79	68	68	
	21年	3,853	69	71	68	67	
さい	5カ年平均	3,884	76	77	75	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ツ	22年見通し	3,800	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は群馬、長野の高原もの中心。愛知はほぼ終了し、北海道出てくる。天候不順により生育は遅れ気味だが、中旬に出荷時期が集中する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					<p>キャベツの数量と単価の推移。数量は8月約4000t、10月約4500t、12月約3500t、1月約3500t、2月約3500t、3月約4000t、4月約4000t、5月約4500t、6月約4500t、7月約4000t。単価は8月約75円/kg、10月約75円/kg、12月約75円/kg、1月約75円/kg、2月約75円/kg、3月約75円/kg、4月約100円/kg、5月約75円/kg、6月約75円/kg、7月約75円/kg。</p>
ほうれんそう	17年	244	683	640	836	590	岐阜 88% 北海道 3% 長野 3% 愛知 2%
	18年	263	652	621	583	788	
	19年	268	695	650	717	719	
	20年	248	583	627	584	533	
	21年	274	571	520	572	622	
さい	5カ年平均	259	636	610	656	653	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ん	22年見通し	270	600	550	600	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜の高原もの中心。今年は雪解けの遅れから出荷も遅れたが、作柄は徐々に回復している。7月に入荷も安定する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					<p>ほうれんそうの数量と単価の推移。数量は8月約200t、10月約350t、12月約400t、1月約400t、2月約450t、3月約400t、4月約400t、5月約300t、6月約300t、7月約300t。単価は8月約600円/kg、10月約600円/kg、12月約600円/kg、1月約600円/kg、2月約600円/kg、3月約600円/kg、4月約600円/kg、5月約600円/kg、6月約600円/kg、7月約600円/kg。</p>

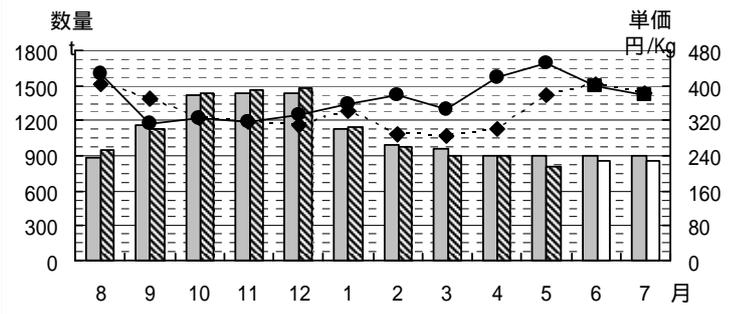
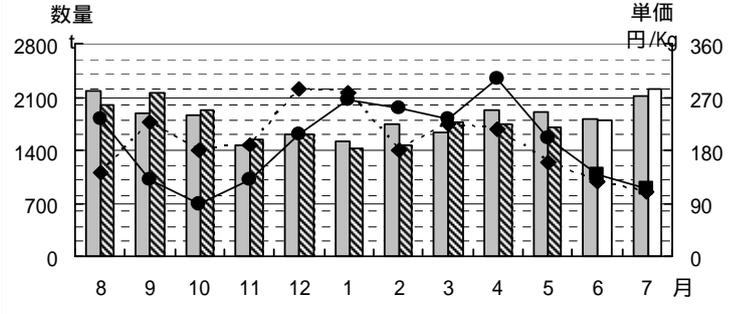
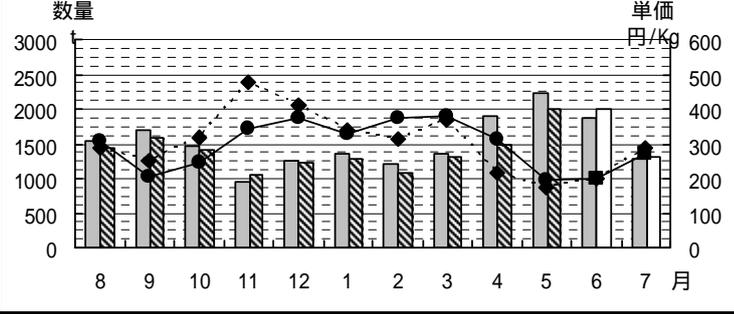
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	17年	6,243	46	43	48	48	長野 82%
	18年	6,265	67	58	59	86	群馬 15%
	19年	6,644	60	50	58	73	茨城 1%
	20年	6,322	60	85	49	49	北海道 1%
	21年	5,759	53	47	53	59	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,247	57	57	53	63	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	6,300	60	60	60	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷が中心となる。長野は定植遅れでピークは7月上旬になる。群馬の生育も遅れがあり、7月には平年より出荷が増加する見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の推移グラフ。数量は8月～7月の月別データを示す棒グラフ、単価は折れ線グラフで示す。数量は概ね10,000t前後で推移し、4月にピークを記録している。単価は概ね50円/kg前後で推移している。</p>					
キャベツ	17年	15,266	63	73	63	57	群馬 66%
	18年	16,019	65	66	56	72	岩手 17%
	19年	15,284	88	74	96	93	茨城 5%
	20年	15,159	62	65	60	60	長野 3%
	21年	16,628	62	66	61	61	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	15,671	68	69	67	69	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	16,300	65	70	65	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬の生育は概ね順調で平年並み。岩手の生育は平年より7日程度遅れているが7月中には回復する見込み。茨城は生育が遅れていたものの出荷が増える。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は8月～7月の月別データを示す棒グラフ、単価は折れ線グラフで示す。数量は概ね15,000t前後で推移し、4月にピークを記録している。単価は概ね100円/kg前後で推移している。</p>					
ほうれんそう	17年	1,072	628	572	769	543	栃木 23%
	18年	1,068	639	567	535	839	茨城 23%
	19年	1,049	618	543	677	640	群馬 21%
	20年	1,189	482	463	474	513	岩手 18%
	21年	1,246	498	488	514	497	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,125	569	524	589	601	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,200	500	500	490	510	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手と関東高冷地からの入荷が中心となる。栃木の生育は7日から10日程度の遅れ。茨城の生育は概ね順調。岩手は梅雨低温の影響があれば出荷が減る。群馬も生育良好。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は8月～7月の月別データを示す棒グラフ、単価は折れ線グラフで示す。数量は概ね1,000t前後で推移し、4月にピークを記録している。単価は概ね500円/kg前後で推移している。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	819	378	363	393	愛知 32%	
	18年	806	341	370	409	大分 16%	
	19年	760	352	513	473	茨城 12%	
	20年	865	359	391	376	北海道 8%	
	21年	897	384	390	385		
ぎ	5カ年平均	829	389	402	404	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	850	380	350	400		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は、愛知の長ねぎと、大分、茨城、北海道、鳥取の白ねぎ。北海道の軟白ねぎの入荷が遅れている他は、各産地順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。					
しそ	17年	2,231	104	92	117	99	長野 99%
	18年	2,331	125	102	83	199	群馬 1%
	19年	2,209	170	115	153	242	愛知 0%
	20年	2,255	106	118	115	90	福岡 0%
	21年	2,111	108	86	117	118	
ス	5カ年平均	2,227	123	103	117	150	に、 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,200	115	110	115	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は前月に引き続き長野中心で、上旬は平野部の残量と、高原ものの出荷が重なる。中旬は端境で一旦入荷量減少し、下旬に高原ものの出荷が本格化すると入荷量は増加する。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
きゅうり	17年	1,569	260	280	347	171	長野 45%
	18年	1,445	264	176	228	413	北海道 22%
	19年	2,316	221	166	233	276	埼玉 7%
	20年	1,614	195	236	200	153	愛知 5%
	21年	1,287	235	207	245	255	
り	5カ年平均	1,646	233	210	249	253	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,300	270	300	270	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長野中心で、愛知はほぼ終了し、北海道が出てくる。北海道、東北では1週間から10日程度生育が遅れているが、後半は入荷量も回復する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	4,180	256	288	227	茨城	65%
	18年	3,886	308	275	328	千葉	14%
	19年	4,031	315	277	321	埼玉	7%
	20年	4,348	253	292	219	中国	6%
	21年	4,132	338	360	306	(愛知産比率)	-%
	5ヵ年平均	4,115	293	299	279	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
22年見通し		4,100	310	290	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		茨城からの入荷が中心となる。6月にピークを向かえ、7月上旬にはやや減少傾向。茨城の生育は順調であるが、一部産地で遅れがみられる。千葉、埼玉の生育も概ね順調であり平年並みの出荷となる。入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。					
しそ	17年	8,841	89	74	90	長野	78%
	18年	8,794	130	93	225	群馬	16%
	19年	8,242	164	107	236	岩手	3%
	20年	8,982	100	106	92	茨城	1%
	21年	9,016	104	89	111	(愛知産比率)	0%
	5ヵ年平均	8,775	117	94	149	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
22年見通し		9,000	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		長野からの入荷が中心となる。長野の生育は遅れていたものが回復し6月下旬から7月にピークとなる。群馬の生育は順調であるが、梅雨本番となると病気等の発生で減少傾向。入荷量は前年並みで、価格も前年並みの見込み。					
きゅうり	17年	7,619	233	262	155	福島	43%
	18年	7,035	256	187	368	岩手	17%
	19年	7,085	307	336	290	秋田	10%
	20年	8,468	168	227	126	茨城	6%
	21年	7,805	214	193	226	(愛知産比率)	0%
	5ヵ年平均	7,602	233	240	228	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
22年見通し		7,800	220	210	220	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		福島を始めとする東北産地からの入荷が中心になる。福島の生育は順調で7月上旬からの出荷開始となる。岩手、秋田ハウス無加温ものが1週間程度遅れている。入荷量は前年並み、価格はわずかに前年を上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	17年	1,092	258	196	338	240	愛知 35%
	18年	993	316	258	286	427	徳島 13%
	19年	970	335	258	286	427	山梨 10%
	20年	1,119	233	305	228	183	岐阜 6%
	21年	1,035	230	197	249	252	
	5ヵ年平均	1,042	272	243	277	301	
す	22年見通し	1,000	250	270	250	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、熊本から徳島、山梨等の露地産地に移行。愛知も平野部から山間部に移行。作付面積は減少して、入荷量は少なめ。台風や雨による傷みによる入荷量の減少が心配される時期。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
マ	17年	1,613	249	191	310	251	岐阜 31%
	18年	1,619	267	257	276	268	愛知 27%
	19年	1,465	297	252	315	321	北海道 18%
	20年	1,540	232	238	263	204	三重 6%
	21年	1,486	276	245	283	296	
	5ヵ年平均	1,545	264	236	289	267	
ト	22年見通し	1,400	280	300	280	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は岐阜、北海道の夏秋産と愛知の残量。春の天候不良から生育は10日から2週間程度遅れているが、岐阜の飛騨地方は早生の作型に作付を映しており、7月には入荷量も回復する見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。					
ミ	17年	260	499	448	514	539	北海道 41%
	18年	261	587	568	570	620	愛知 29%
	19年	285	556	533	562	570	茨城 10%
	20年	285	471	495	502	427	
	21年	300	520	484	503	567	
	5ヵ年平均	278	526	505	530	544	
ト	22年見通し	280	500	520	500	480	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道と愛知の残量。熊本は終了。北海道は低温と日照不足で1週間から10日程度の生育遅れだが、下旬に回復する。後半給食の引きがなくなるため、苦しい販売環境が予想される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	4,518	276	228	375	222	茨城 26%
	18年	4,415	357	315	311	458	栃木 25%
	19年	3,990	362	283	438	380	群馬 24%
	20年	5,596	239	351	227	163	埼玉 8%
	21年	4,958	266	288	283	240	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	4,695	295	296	319	283	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	4,800	280	270	290	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地が切り上がり、関東産地が入荷の中心となる。群馬では露地ものに生育遅れがある。栃木では、定植が2週間遅れの影響があり7月中旬以降。茨城の生育は順調である。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は8月約4500t、9月約3500t、10月約4000t、11月約2500t、12月約2000t、1月約2000t、2月約2000t、3月約2500t、4月約4500t、5月約4500t、6月約4500t、7月約4500t。単価は8月約250円/kg、9月約250円/kg、10月約300円/kg、11月約350円/kg、12月約350円/kg、1月約350円/kg、2月約350円/kg、3月約350円/kg、4月約450円/kg、5月約450円/kg、6月約450円/kg、7月約450円/kg。</p>					
ト マ ト	17年	8,295	233	163	338	225	青森 17%
	18年	8,225	266	245	279	274	茨城 11%
	19年	7,818	273	232	299	288	栃木 11%
	20年	9,424	228	257	240	197	福島 10%
	21年	8,234	285	254	289	307	(愛知産比率 4%)
	5カ年平均	8,399	256	231	288	256	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	8,200	280	270	290	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地の入荷が本格化してくる。青森は低温、日照不足の影響から7日程度の生育遅れ。栃木は半促成・促成とも生育は順調。茨城は小玉傾向であるが生育は順調。</p> <p>入荷量は前年並み、価格も前年並みの見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は8月約9000t、9月約9000t、10月約7000t、11月約6000t、12月約5000t、1月約5000t、2月約5000t、3月約5000t、4月約6000t、5月約9000t、6月約9000t、7月約9000t。単価は8月約250円/kg、9月約250円/kg、10月約300円/kg、11月約300円/kg、12月約300円/kg、1月約300円/kg、2月約300円/kg、3月約300円/kg、4月約350円/kg、5月約350円/kg、6月約350円/kg、7月約350円/kg。</p>					
ミ ニ ト マ ト	17年	973	463	368	502	512	福島 19%
	18年	994	546	505	560	574	茨城 19%
	19年	1,046	511	478	511	540	岩手 12%
	20年	1,200	454	501	492	395	愛知 10%
	21年	1,166	492	462	473	536	(愛知産比率 10%)
	5カ年平均	1,076	492	465	506	508	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,050	510	500	510	520	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、岩手の東北産地からの入荷が増えてくる。東北産地の生育は低温、日照不足の影響で遅れているが7月には量的にも出揃う見込み。愛知産の出荷は終盤である。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は8月約1000t、9月約1200t、10月約1300t、11月約1200t、12月約1000t、1月約1000t、2月約1000t、3月約1000t、4月約1200t、5月約1400t、6月約1400t、7月約1200t。単価は8月約600円/kg、9月約600円/kg、10月約600円/kg、11月約600円/kg、12月約600円/kg、1月約600円/kg、2月約600円/kg、3月約600円/kg、4月約600円/kg、5月約600円/kg、6月約600円/kg、7月約600円/kg。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	563	351	263	434	375	茨城 40%
	18年	489	361	333	369	386	岩手 23%
	19年	460	359	269	364	486	北海道 17%
	20年	603	290	362	302	213	
	21年	507	299	301	286	310	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	524	330	307	351	347	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	500	300	320	300	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は茨城中心で、西南暖地は終了。岩手、北海道が出てくるが、天候不順による生育遅れから産地移行は遅れ、上旬は大幅な入荷量減となり、中旬から回復する見込み。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。					
ばれいしょ	17年	2,323	161	135	181	169	静岡 24%
	18年	2,205	124	120	124	127	青森 20%
	19年	2,038	98	86	98	106	北海道 18%
	20年	1,904	130	147	141	106	
	21年	1,439	191	170	204	199	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	1,982	138	129	147	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,500	180	180	180	180	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地が長崎、静岡から東北、北海道に移行する過渡期で、少量多産地となる時期。青森、北海道は天候不順により生育は遅れる見込み。夏は消費が伸びないため、引きは弱い。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。					
たまねぎ	17年	3,859	78	76	77	80	兵庫 67%
	18年	4,298	79	78	75	83	愛知 18%
	19年	4,379	69	69	71	69	北海道 8%
	20年	5,384	59	62	64	52	佐賀 4%
	21年	4,193	97	98	110	90	
ね	5カ年平均	4,422	75	76	79	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	4,300	95	95	95	95	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は兵庫の淡路中心で、愛知は終了へ。淡路は早生から中生、晩生種へ移行。生育は良くL、M中心。上旬からつり玉の出荷が始まる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をわずかに下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	2,115	324	193	408	387	茨城 66%
	18年	2,183	313	265	314	384	岩手 22%
	19年	2,160	336	215	328	518	福島 6%
	20年	2,468	227	239	200	154	青森 2%
	21年	2,104	266	278	236	281	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	2,206	291	238	294	340	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,000	300	290	310	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城、岩手からの入荷が中心となる。茨城は生育順調であるが、切り上がりが早めとなる見込み。岩手は定植の遅れから7日間程度の生育遅れがみられる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					
ばいしょ	17年	5,246	142	128	147	151	茨城 29%
	18年	5,380	126	118	125	135	千葉 22%
	19年	6,021	86	81	86	93	静岡 18%
	20年	5,254	132	146	133	112	北海道 13%
	21年	4,976	184	167	189	197	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	5,375	132	126	134	136	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	5,000	160	155	160	165	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		関東産地からの入荷が中心となる。茨城の生育は7日間程度の遅れがある。静岡の生育は春先の霜害で小玉傾向であるが品質は良好。千葉の生育は10日間程度遅れており、小玉傾向である。 入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
たまねぎ	17年	11,047	81	81	81	82	佐賀 39%
	18年	10,114	85	85	82	88	兵庫 30%
	19年	9,928	77	74	74	83	群馬 6%
	20年	10,122	77	81	78	71	中国 6%
	21年	8,903	113	104	114	121	(愛知産比率 5%)
ね	5カ年平均	10,023	86	85	85	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	9,000	100	95	100	105	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		佐賀、兵庫、香川の入荷が中心となる。佐賀は生育が天候不順で小玉傾向で平年より少ない出荷となる見込み。兵庫の生育は天候不順の影響で小玉傾向。香川の生育も天候不順の影響で小玉傾向。 入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	16,817	288	291	303	271	フィリピン 20%
	18年	14,032	324	342	329	303	愛知 16%
	19年	13,215	333	341	339	319	山梨 8%
	20年	12,035	347	350	360	334	山形 8%
	21年	11,675	326	331	328	321	
	5カ年平均	13,555	321	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	10,900	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春の天候不順の影響でなし、すいか、ぶどう等の生育遅れ気味。すいか、メロンは作付面積が減少。消費者の低価格志向は変わらず、入荷量が減少しても販売環境は厳しい。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
アール メロン	17年	417	493	494	521	459	愛知 45%
	18年	357	600	700	623	487	静岡 38%
	19年	331	551	591	539	516	高知 15%
	20年	309	614	628	625	584	
	21年	306	553	604	541	510	
	5カ年平均	344	559	599	568	507	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	300	550	600	550	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知と静岡中心。各産地とも作付面積は前年に比べて減少している。4月の天候不順で生育が5日から1週間程度遅れており、前月は小玉傾向だったが、GW前後の好天で今月分の作柄は良く大玉傾向。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。</p>					
すいか	17年	3,645	118	135	119	109	石川 29%
	18年	3,663	126	155	123	108	愛知 28%
	19年	2,966	125	125	115	132	山形 16%
	20年	2,762	172	138	160	204	長野 13%
	21年	2,823	137	133	132	142	
	5カ年平均	3,172	134	138	129	135	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,600	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、石川中心で、下旬に山形、長野が出てくる。作付面積は前年に比べて減少。今月分は大玉傾向で、前月下旬から今月上旬にかけて出荷のピークを迎える。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	47,179	301	329	320	359	山梨 17%
	18年	44,681	330	374	328	296	山形 13%
	19年	41,488	329	359	345	291	フィリピン 11%
	20年	42,935	342	360	346	323	千葉 9%
	21年	43,979	323	331	332	309	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	44,052	325	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	43,000	325	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、もも、メロン類中心に入荷する。ももは山梨中心に入荷。春先の天候不順により開花がやや遅れている。すいかは各産地とも7日以上の上遅れ。メロン類も天候不順で生育が遅れやや小玉傾向である。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
アーメロン	17年	977	558	554	558	564	静岡 50%
	18年	912	642	759	600	553	千葉 15%
	19年	866	582	620	542	580	高知 9%
	20年	772	673	624	683	745	愛知 8%
	21年	750	590	639	576	538	(愛知産比率 8%)
	5ヵ年平均	855	607	639	589	593	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	730	620	650	630	580	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡中心に入荷する。玉伸びは良好であるが、作付面積が全体に減少しており、入荷量は前年より微減の見込み。静岡は夏系品種に切り替わり大玉傾向。千葉の生育も順調で大玉傾向。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回ると見込まれる。</p>					
すいか	17年	12,663	118	106	129	138	山形 23%
	18年	11,644	140	129	142	174	千葉 19%
	19年	13,895	127	131	125	125	新潟 12%
	20年	14,224	175	150	168	198	神奈川 11%
	21年	14,653	153	145	156	157	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	13,416	143	133	145	158	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	15,000	135	145	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、新潟に加え、後半山形からの入荷が本格化する。千葉の生育は10日ほど遅れており7月末まで出荷がある予定。山形も低温による定植遅れで7日以上の上遅れ。新潟も生育遅れで7月出荷分が増加。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の7月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	18年	3,020	39	
		19年	3,090	36	
		20年	2,841	39	
		21年	2,982	34	
		4ヶ年平均	2,983	37	
	22年見通し	3,000	35		
概要	<p>愛知、長野を中心に入荷。平年は6月に夏系品種に切り替わるが、今年は生育遅れで移行が遅れ、量も少なく高めで推移している。7月には量も増え、価格も安定すると見込まれる。長野は1週間程度の生育が遅れおり、新盆時期はやや安くなる見込み。</p>				
小 ぎ	実績	18年	2,616	20	
		19年	2,409	23	
		20年	2,791	20	
		21年	2,924	20	
		4ヶ年平均	2,685	21	
	22年見通し	2,400	20		
概要	<p>愛知、長野、奈良等から入荷。生育は遅れぎみで、全体的には1週間から10日程度の遅れ。6月中旬出荷予定が7月になる産地も出る。梅雨入りも遅れたことからこの傾向は続く。中間地では短いものが目立つが、新盆以降は長さも戻ると思われる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	18年	1,189	38	
		19年	1,160	41	
		20年	1,172	36	
		21年	1,106	37	
		4ヶ年平均	1,157	38	
	22年見通し	1,100	38		
概要	<p>長野、北海道等から入荷。これまでの日照不足や低温により、生育は10日から20日程度遅れている。ピークの6月下旬以降は、少なめの出荷量が長く続くと予想される。新盆需要はあまり大きくないため、价格的には苦しい販売環境が予想される。</p>				
か す み 草	実績	18年	174	60	
		19年	182	57	
		20年	159	60	
		21年	184	52	
		4ヶ年平均	175	57	
	22年見通し	180	55		
概要	<p>福島、北海道、長野等から高冷地産が入荷。暖地産は終盤に向かう。潤沢な入荷状況が続くため、価格面では厳しい展開となることが予想される。夏場で引きは弱く高値は見込めないが、業務需要次第で価格も安定するか。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	18年	548	121	
		19年	516	133	
		20年	484	117	
		21年	462	124	
	4ヶ年平均		502	124	
	22年見通し		430	130	
概要	新潟、岐阜を中心に高冷地産が入荷する。オリエンタル系、LA系、てっぼうゆりともに生育はやや遅れているものの、入荷は安定しており、中旬に入荷のピークを迎える見込み。業務需要中心の販売で荷動きは悪いため、苦しい販売環境が予想される。				
洋 ら ん	実績	18年	355	91	
		19年	358	94	
		20年	362	83	
		21年	372	77	
	4ヶ年平均		362	86	
	22年見通し		350	85	
概要	愛知、宮崎、徳島、静岡と輸入ものが入荷。カトレア、コショウランは気温の上昇とともに入荷量は減少し、品質による単価差が拡大する。前年のような極端な品不足にはならず量はまずまず。業務需要が落ち込んでおり、国産・輸入に限らず販売環境は苦しい。				
ば ら	実績	18年	988	44	
		19年	908	50	
		20年	1,021	39	
		21年	1,024	44	
	4ヶ年平均		985	44	
	22年見通し		950	45	
概要	愛知、岐阜、和歌山、山形中心の入荷で、暖地ものは改植期となるため入荷量は一時減少する。高冷地や、夜冷を行っている産地で品質が良くなってくるが、消費が鈍いため、価格的には苦しい販売環境が予想される。				
枝 も の	実績	18年	1,465	42	
		19年	1,354	45	
		20年	1,554	43	
		21年	1,308	43	
	4ヶ年平均		1,420	43	
	22年見通し		1,350	42	
概要	愛知、静岡、岐阜等から入荷。新芽も固まり、栽培ものが増加する。山取りものも含めて稽古需要が減少しているため、価格的には苦しい販売環境が予想されるが、新盆需要でシキミ、チラ、法月の引き合いは強くなる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	17年	31,333	981	
		18年	31,412	1,139	
		19年	29,918	1,250	
		20年	27,060	1,201	
		21年	29,520	1,032	
	5ヶ年平均		29,849	1,118	
	22年見通し		29,000	1,000	
概要	<p>入荷量は前年並みか。7～10号鉢は中元需要等で動きは良さそう。逆に4～6号鉢は厳しそう。 昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(93%)、2位三重(7%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	17年	34,858	2,765	
		18年	26,916	3,465	
		19年	29,279	3,506	
		20年	28,731	3,091	
		21年	28,689	2,968	
	5ヶ年平均		29,695	3,140	
	22年見通し		28,000	3,000	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。中元需要と参議院議員選挙のお祝い需要が重なれば、かなり期待ができる。ただ、春先の天候不順による品質低下が気にかかる。 昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(67%)、2位静岡(7%)、3位山梨(5%)となっている。</p>				
ミ ニ バ ラ	実 績	17年	3,663	96	
		18年	7,042	99	
		19年	4,158	114	
		20年	9,282	95	
		21年	10,026	108	
	5ヶ年平均		6,834	102	
	22年見通し		10,000	100	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。3～4号鉢中心の入荷となるが単価は厳しそう。中輪系も若干入荷があるが、高温で花終わりも早いので、少し固めの出荷を望む。 昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(35%)、2位山口(34%)、3位岐阜(18%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オンシジューム	実績	17年	3,946	1,277	
		18年	3,302	1,295	
		19年	4,159	1,314	
		20年	3,054	944	
		21年	1,929	1,157	
	5ヶ年平均		3,278	1,214	
	22年見通し		1,500	900	
概要	<p>生産量が減少しているため、入荷量も昨年より減少か。品種の片寄りと春先の天候不順による品質低下が気にかかる。 昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(52%)、2位長崎(27%)、3位福岡(16%)となっている。</p>				
スパティフィラム	実績	17年	22,929	239	
		18年	28,348	237	
		19年	27,210	297	
		20年	19,443	249	
		21年	14,688	286	
	5ヶ年平均		22,524	260	
	22年見通し		13,000	250	
概要	<p>生産量が減少しているため、入荷量も昨年より減少か。中元需要が期待できないため、3~4号鉢、6~10号鉢とも単価が厳しそう。 昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(54%)、2位愛知(26%)、3位岐阜(17%)となっている。</p>				
ドラセナ類	実績	17年	75,016	480	
		18年	64,084	576	
		19年	55,894	696	
		20年	52,409	572	
		21年	36,704	544	
	5ヶ年平均		56,821	570	
	22年見通し		35,000	500	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。入荷はユッカ、マッサン、コンシンネが中心となるか。リース業が厳しいため、大鉢の動きは厳しそう。 昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(68%)、2位沖縄(11%)、3位三重(6%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2010年)

1 輸入実績

品名	4月						4月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	75,467	126.6	7,689,327	133.4	102	105.4	270,522	128	26,644,959	134	98	94.5
トマト	146	86.1	50,452	89.4	345	103.8	1,398	271	559,687	362	400	147.1
たまねぎ	26,482	172.4	1,379,044	205.3	52	119.1	110,986	200	5,494,060	243	50	130.4
にんにく	1,758	93.3	273,774	188.6	156	202.0	6,196	94	929,918	184	150	143.7
ねぎ	4,171	170.4	403,781	152.5	97	89.5	14,822	164	1,326,914	166	90	89.0
ブロッコリー	3,604	135.4	784,762	133.7	218	98.8	9,496	125	1,753,068	125	185	113.5
結球キャベツ	2,895	126.5	120,200	131.3	42	103.8	7,644	93	286,480	102	37	104.1
にんじん・かぶ	4,817	94.4	266,325	91.4	55	96.8	10,590	73	550,974	73	52	102.7
ごぼう	2,783	76.4	152,191	98.0	55	128.2	11,061	93	589,936	136	53	122.1
えんどう	190	368.4	58,385	419.9	307	114.0	886	232	232,641	309	263	117.8
アスパラガス	1,469	137.3	728,188	122.6	496	89.3	6,779	120	3,140,828	112	463	83.5
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
しいたけ	471	107.8	116,195	110.1	247	102.1	2,724	128	672,398	143	247	105.3
かぼちゃ	20,890	105.9	1,370,045	121.8	66	115.0	67,906	95	4,291,485	106	63	104.2
果実(生鮮・乾燥)	202,830	93.6	24,184,812	98.8	119	105.6	633,025	92	67,820,323	97	107	96.0
バナナ	107,622	87.9	8,315,613	85.1	77	96.8	358,839	85	24,147,934	79	67	91.4
パイナップル	14,656	100.0	880,672	90.3	60	90.3	42,196	97	2,543,618	94	60	96.1
レモン	4,053	88.7	575,856	110.1	142	124.2	15,159	95	2,048,212	112	135	116.8
オレンジ	14,096	100.9	1,390,629	98.8	99	97.9	37,557	102	3,584,536	96	95	98.0
グレープフルーツ	28,402	98.1	2,999,667	97.5	106	99.4	91,209	104	9,628,229	107	106	119.4
メロン	2,197	40.2	312,863	52.4	142	130.2	9,661	77	1,091,716	74	113	107.3
ぶどう	2,112	129.0	276,968	126.1	131	97.7	5,493	119	852,035	125	155	83.8
キウイ	9,148	107.1	2,932,735	110.0	321	-	9,156	106	2,936,444	110	321	95.5
いちご	-	-	-	-	-	-	21	60	13,615	70	637	71.7
切花(生鮮・乾燥)	3,028	107.3	2,483,124	110.2	820	102.8	13,850	113	10,114,234	113	730	99.4
鳥獣肉類	161,350	118.3	68,916,596	116.7	427	98.7	546,799	103	229,796,778	99	420	98.7
牛肉(くず肉含む)	44,292	110.9	18,891,822	119.8	427	108.0	148,934	99	60,753,790	107	408	105.4
豚肉(くず肉含む)	69,391	111.2	36,398,155	111.2	525	100.0	241,547	99	126,569,301	99	524	100.0
鶏肉	39,879	161.3	8,857,303	155.3	222	96.3	131,841	126	27,742,230	89	210	90.3
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	170,586	103.4	86,343,774	93.1	506	90.0	571,246	101	275,903,694	91	483	92.6
まぐろ類	16,386	76.9	12,144,654	52.8	741	68.7	68,521	91	48,559,473	64	709	82.0
さば・さんま・あじ・いわし	6,033	78.6	891,463	72.8	148	92.6	34,545	66	5,387,265	58	156	90.4

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	787	34.7	267,997	45.8	340	132.0	13,431	133	3,925,350	153	292	99.1
うんしゅうみかん	6	133.1	7,089	113.5	1,223	85.3	222	221	89,000	143	401	298.5
りんご	768	34.1	236,392	42.6	308	125.0	12,959	132	3,560,337	155	275	106.2
なし	-	-	-	-	-	-	43	363	18,314	294	424	105.3
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	253,295	109.9	-	-	-	-	858,913	97	-	-
緑茶	156	83.4	293,516	93.9	1,878	112.6	670	110	1,252,067	120	1,869	106.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	20年平均	101.7	104.7	102.4	106.9	105.5
	21年12月	99.6	95.7	90.6	104.3	102.6
	22年 1月	99.4	107.8	95.0	104.4	103.1
	2月	99.3	107.1	91.8	104.1	101.6
	3月	99.6	107.6	92.2	104.0	102.2
	4月	99.6	125.1	89.0	103.3	102.5
愛 知 県	20年平均	101.7	100.9	101.6	104.8	104.0
	21年12月	100.0	95.0	96.0	102.6	102.0
	22年 1月	99.3	96.8	94.7	102.4	99.4
	2月	99.2	97.4	90.1	104.7	97.5
	3月	99.5	96.1	90.5	104.0	100.7
	4月	99.4	114.4	86.5	101.1	100.7

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	20年平均	97.7	94.7	104.8	100.8	101.6
	21年12月	92.9	97.5	93.5	83.8	98.9
	22年 1月	96.7	97.0	110.5	76.2	96.4
	2月	98.3	97.0	113.6	85.4	97.9
	3月	102.2	97.0	118.3	80.4	97.1
	4月	105.3	97.4	126.0	90.2	97.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
20年平均	2,212	150	170	637	420	272	143	331	191	558	605	208	494
21年12月	2,240	102	106	563	434	305	109	268	217	608	606	209	425
22年 1月	1,995	131	121	641	501	286	130	249	232	579	561	208	367
2月	1,995	173	124	567	483	315	148	273	254	562	600	187	369
3月	1,987	150	157	565	460	317	152	255	246	559	607	163	376
4月	1,995	218	270	669	571	375	194	362	247	493	746	171	423
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
20年平均	553	346	408	150	261	669	614	163	172	328	230	824	492
21年12月	453	303	405	173	246	676	609	162	171	349	221	754	479
22年 1月	491	304	393	145	232	695	565	148	168	299	236	788	472
2月	484	291	373	137	245	636	546	149	156	301	216	815	444
3月	527	277	366	138	237	670	560	149	168	304	233	812	454
4月	-	266	333	122	239	681	557	155	162	300	234	705	441

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 445
平成22年7月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417